

令和6年度 電子納品保管管理システム構築業務 費用内訳

費 目		令和6年度 (契約日の翌日からR7.3.21)				備 考
		数量	単位	単価	金額	
準備・協議	計画および準備	1	式			
	協議打合せ	3	回			
電子納品保管管理 システム構築	中継サーバシステム	1	式			
	保管管理システム	1	式			
	配信サーバシステム	1	式			
その他	説明会等の実施	1	式			
	既存システムからデータ移行	1	式			
報告書作成	報告書作成	1	式			
直接作業費						
諸経費			%			
業務価格						
業務価格計						

※大項目は上記のとおりとするが、内訳の詳細がわかるように費目の細分化を行うこと

令和6年度 電子納品保管管理システム構築業務 機能要件回答書

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

No.	業務内容等 分類	機能要件の詳細	対応の可否 (該当するものに○を記入)					備考
			標準機能を上回る機能	標準機能	代替案・カスタマイズ対応(無償)	カスタマイズ対応(有償)	対応不可	
1	基本機能等	長野県におけるネットワーク体系については、長野県情報セキュリティポリシーに記載のとおりとする。なお、インターネット接続系におけるWEBブラウザ環境は、MicrosoftEdge及びGoogleChromeであるため、対応できる仕様とすること。						
2		保存領域はクラウドサーバとすること。また、保存可能容量が上限に達した際に、随時容量を拡張できる仕様とすること。なお、本県において推定される電子成果品の保管件数(工事・業務単位)は以下のとおり。 令和6年度末までの件数(総数):約28,000件 令和7年度以降の件数(年間):約3,800件						
3		情報共有システムとの連携を図ること。なお、本県における情報共有システムの運用等については、「情報共有システム実施要領(長野県建設部)」による。 ○情報共有システム実施要領(長野県建設部)URL https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/cals/torikumi/index.html						
4		将来的に電子成果品を受注者以外の一般にも公開扱いとする際に、新システム上で公開(全部又は一部)ができるような設定及び仕様を付与すること。ただし、当面は公開の予定が無いため、本業務の納品時には一般非公開の設定とする。						
5		蓄積された電子成果品の庁内での共有について、共有範囲(部局毎など)が適宜設定できる仕様とすること。						
6		長野県が所有するシステムとデータ連携ができる仕様とすること。なお、現時点で連携を想定しているシステムは以下のとおり。 ○長野県インフラデータプラットフォーム参考URL https://nagano-infrastructure-data-platform-1-nagano-idp.hub.arcgis.com/						
7		長野県情報セキュリティポリシーを遵守し、情報セキュリティ対策及び作業管理を適切に行い、情報漏洩事故等が起こらないよう十分配慮すること。 ○長野県情報セキュリティポリシーURL https://www.pref.nagano.lg.jp/dx-infra/kensei/soshiki/soshiki/kencho/dx-infra/index.html						
8	中継サーバシステム	情報共有システムから電子成果品を登録できる仕組み(連携する仕組み)を有すること。						
9	情報共有システムと接続するにあたっては、長野県の電子納品保管管理接続用のAPIを作成・使用すること。なお、APIを情報共有システムベンダーへ提供する際には、連携定義書を作成の上配布すること。							
10	電子成果品が保管管理システムに登録できるか否かについて、チェック機能を有すること。							
11	電子成果品の中継サーバへの登録状況を一覧で表示できること。							
12	保管管理システムへの登録時にエラーが生じた場合、登録者(受注者)に通知する機能を有すること。							
13	保管管理システムからの処理状況を受け取り、利用者に処理状況をメール通知できる仕様とすること。							
14	情報共有システムを使用しない建設工事等においては、受注者のデバイス等から直接電子成果品を登録できる機能を有すること。('電子納品に係る実施要領(長野県建設部)』に準じないデータを含むこととし、この場合はINDEX情報に相当する情報を入力する画面を設けること)また、電子成果品をドラッグアンドドロップで登録できる仕様とすること。							
15	登録された電子成果品のフォルダ構成やファイル一覧を表示できること。							
16	(セキュリティ機能) 各ASPベンダーに対して、一意の接続IDを付与し、正しい接続IDが付与されたデータのみしか通信を受け付けない。							
17	(セキュリティ機能) ASPベンダー毎に、納品データ保管登録完了URIを登録し、登録されたURIの通信のみを行うようにする。							
18	(セキュリティ機能) 納品データファイルのハッシュ値を付与してデータのやり取りを行うことにより、伝送経路上の納品データの改ざん検知を行うようにする。							
19	(セキュリティ機能) 納品データのハッシュ値と納品データのURLは別のリクエストで通信をおこなうことにより、なりすましや改ざんを防止する。							

No.	業務内容等 分類	機能要件の詳細	対応の可否 (該当するものに○を記入)					備考
			標準機能を上回る機能	標準機能	代替案・カスタマイズ対応(無償)	カスタマイズ対応(有償)	対応不可	
20		(セキュリティ機能) サーバ間はSSL通信を行うことで、データ通信が暗号化され、Webページとユーザー間の盗聴や改ざんがされにくくなる。						
21		(セキュリティ機能) データ通信の際のリクエストパラメータはPOSTでサーバにデータを送信することで情報を隠蔽する						
22		(セキュリティ機能) 中継サーバのグローバルIPを情報共有システムベンダーに通知し、情報共有システムは必要に応じてIPアドレス制限の設定を行うようにする。						
23		(セキュリティ機能) ファイアウォール設定で443ポートの通信のみを許可する。						
24		(セキュリティ機能) ウイルス対策ソフトを導入してウイルス対策を行う。						
25		(セキュリティ機能) 情報共有システムのIPアドレス制限を行う。						
26	保管管理システム	中継サーバから送信された電子成果品を蓄積すること。						
27		「電子納品に係る実施要領(長野県建設部)」に準じた成果品については、フォルダ構成を再現でき、XML情報を表示できること。また、準じていない成果品は、データ検索に必要な情報を表示すること。						
28		電子成果品を案件毎または複数ファイルを選択してダウンロードすることができる。						
29		「電子納品に係る実施要領(長野県建設部)」において、軽微な改定がなされた場合でも、別途費用を要しないよう、改修を要しない又は軽微な改修で対応できる仕様とする。						
30		電子成果品に対して、関連ファイルを格納するフォルダを生成し、属性を付与してファイルを登録できること。また、登録はドラッグアンドドロップで行うことができること。						
31		蓄積された成果品について、受注者等に公開・配信可能な成果品を選択し、配信サーバに送信する際、閲覧可能期間や閲覧可能者(閲覧期限)の設定を行うことができる仕様とする。						
32		(検索機能) 検索条件は、発注機関、工事種別、発注年月日、完成年月日、事業年度、工事名、事業名、キーワード等で検索できる。						
33		(検索機能) 検索機能は、AND、OR、絞り込み検索、部分一致検索ができるものとする。						
34		(検索機能) 検索により抽出された電子成果品は、一覧表示ができ、その結果をEXCELで出力ができる。なお、一覧表示においては、配信状況がわかる情報を表示、検索等できること。						
35		(検索機能) 蓄積されている成果品のWORD、EXCEL、PowerPoint、TEXT(txt形式)、PDFファイルにおいて、データ内の全文検索ができる。						
36		格納されているPDF、画像、CADファイルは、ダウンロードすることなく、システム内で閲覧、確認できる。						
37		電子地図にて成果品の分布状況を視覚的に確認でき、位置情報を基に電子地図上にシンボルを表示できる。また、地図上に表示したシンボルから案件を指定できる。						
37		同じ地点で複数の工事・業務が登録されている場合には、複数のシンボルが当該地点付近に表示されるなどにより煩雑な表示となることを避けるため、シンボルの表示は1点のみとし、そのシンボルを選択した後、別に表示されるポップアップなどにおいて、工事・業務の別が表示される仕様とする。						
38		電子地図上を範囲選択することで、範囲内の複数の案件も指定でき、その案件一覧をEXCEL出力できる。また、その際に地図もあわせて出力できる。						
39		地図上に表示した案件から、個別の登録情報閲覧画面にジャンプできる。						
40		納品されたボーリングデータ(xml)を読み込み、実際に調査した地点を電子地図にマッピングできる。						
41		検索・抽出した一覧表から、複数の電子成果品を一斉にダウンロードできる。また、ダウンロードしたデータは、納品された電子成果品の形式(ファイル形式、フォルダ構成)を保持した状態とする。						
42		(管理者向け機能) システム画面から利用者を確認できるとともに、ユーザー向けにお知らせ機能を有する。						

No.	業務内容等 分類	機能要件の詳細	対応の可否 (該当するものに○を記入)					備考
			標準機能を上回る機能	標準機能	代替案・カスタマイズ対応(無償)	カスタマイズ対応(有償)	対応不可	
43		(管理者向け機能) システム画面から利用部局毎のストレージ利用量を把握できる。						
44		許可されたIPのみ接続が可能とする。						
45	配信サーバシステム	公開・配信は、情報セキュリティを確保する観点で、アクセス制限機構、公開時期を設定できる。						
46		保管管理システムで配信・公開可能とした成果品またはファイルを成果品単位で格納する。						
47		電子成果品を案件毎または複数ファイルを選択してダウンロードすることができる。なお、ダウンロードは、ZIP形式とする。						
48		保管管理システムで設定した配信・公開方法に従い、アクセス可能な利用者の設定及び閲覧権限の設定を行う。						
49		閲覧権限を与えられた利用者が行うことができるダウンロード回数は5回までとし、閲覧期間が過ぎた場合には、閲覧・ダウンロードができない仕様とする。						
50		(セキュリティ機能) データ通信の際のリクエストパラメータはPOSTでサーバにデータを送信することで情報を隠蔽する。						
51		(セキュリティ機能) ファイアウォール設定で443ポートの通信のみを許可する。						
52		(セキュリティ機能) ウイルス対策ソフトを導入して、ウイルス対策を行う。						
53	その他	利用者への周知と誰もが使いやすいシステムとするための業務を行うこと。 (例:利用者説明会の開催、説明動画の作成・配布、試験版での試運用による利用者意見聴取 など)						
54		現行システムに保存・登録されているデータについて、本業務で構築する新システムへ移行すること。また、現行システムに保存・登録されていないデータについても、電子媒体(CD-R等)を収集し、新システムに登録すること。なお、既存の電子成果品については、解像度を低くする等により写真のデータ量を下げた上で、新システムへ移行することも可とする。(ただし、視認できる程度の解像度は確保すること)						